

平成25年度事業概要「東区関連」

近年は社会基盤の整備関係費等が大きく落ち込む一方、長引く不況や高齢化により、民生費が急増しています。さらに市税収入の伸び悩みなどから、一般財源の確保が困難となつておらず、ここ10年の歳出総額は横ばいの傾向です。そんな中、今後10年間の札幌市の新たなまちづくりの基本方針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の策定に向けた検討が進んでいることを踏まえて、中長期的なまちづくりに資する事業に積極的に取り組まなければなりません。

ら、計画的な保全等を推進し、施設を長寿命化

除排雪強化充

市長・国に要望

から、自民党・市民会議では補正予算を組むなどの措置を取るよう強く要請しま

○三二児童会館施設整備費（すべての小学校区における放課後の居場所づくり）
・札幌小、伏古北小、元町北設置

○札幌市立中高一貫教育校の設置（北海道札幌開成高等学校を全面改築のうえ、改編し、平成27年度に中等教育学校を設置）

○東区役所等耐震化関連・非常用発電設備更新事業（区役所、区民センターの機能や安全性を確保するため、耐震化

○民間再開発によるまちづくりへの支援事業（民間再開発事業の施行者に、調査・設計・共同施設整備費等の一部を補助）

・北3条東11丁目周辺地区（総事業費：約125億円のうち札幌市補助：約97億円）

○保全推進事業（市有建築物の多くが政令指定都市移行後に集中的に整備され、今後建替え需要が集中することから事業を実施）

○地域活動を豊かにする拠点の整備（地域の街づくり活動の拠点である地区会館の整備推進による活動のさらなる活用）

- ・苗穂東まちづくりセンター
- ・苗穂記念館
- ・元町街づくりセンター・地区会館

○仮称）古代の里整備事業（サッポロさとらんど内に保存されている縄文時代の遺跡を活用して、古代の食と文化を体験できる遺跡公園を整備）

札幌市内では今冬、平年を大幅に上回る降雪が観測され、市民生活に大きな影響が予想されることを考慮し、市議会自民党・市民会議では1月7日、市長に除排雪対応の強化を求めました。平成24年度除雪事業予算は総額149億円の予算を組みました。今年は1月22日現在で累計降雪量311cm(昨年度

A yellow snowplow truck is shown clearing snow from a city street at night. The truck has large yellow tires and a yellow plow attachment. It is covered in snow, particularly on the roof and back. A person in a high-visibility vest stands near the truck, which is positioned next to a building with a sign that partially reads "BLD". The scene is illuminated by streetlights and the truck's own headlights.

苗穂駅周辺地区

「栄町バスターミナル」に向けて第一歩

平成9年から栄町バスターミナルの整備を訴えてきましたが、財政難と用地も確保が難航したため遅れています。市街中心にあってようやく確保できた敷地も狭いため、バスターミナルではなく「交通広場」という形となりました。また通学路の安全確保という観点から敷地内に通学路を設けるため、スペースとしてはさらに制約のあるものとなりました。結局、当

初の構想とはかけ離れた1案と2案が1月18日札幌市から提示され、町内会として将来の目標としては2案、当面は1案を採用することに決定しました。

これまで駆輪場対策のみの交通広場と言つても過言ではあります。

栄町の活性化を目指した当初の構想を見失うことなく、実現に向けて地域の皆さんとともに粘り強く頑張っていきた

ターミナルではなく「交通広場」篠路・あいの里方面からのバスは麻生8対栄町2ど、北区麻生に集中しています。せめて5対5の割合にし、東区北区のバス路線の再編によって、市民の利便性を高め東区栄町の活性化につなげようとしていた私たちは大きいか離れたものとなってしまい残念なりません。



自民党本部へ新年度予算について要望



地域の皆さんと一緒に取り組んだ平成24~25年の主な事業

生活道路の改良工事にも全力で取り組んでいます。



【平成25年予定】北光5分区町内一帯予定●北19条東12丁目中通り一帯予定●北19条東10丁目中通り整備に向け測量●斤珠飛行場北東3号線整備継続